

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和8年1月19日

施設名	文学館	所管課	文化生活部文化振興課
-----	-----	-----	------------

## 1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県文化財団	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
施設所在地	高知市丸ノ内1-1-20		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学に関する書籍、原稿、文献、写真、フィルムその他の資料及び文学者の遺品等(以下「文学資料等」という。)を収集し、保管し、及び展示し、並びに閲覧に供すること</li> <li>・文学資料等の調査研究</li> <li>・文学に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の教育普及活動</li> <li>・企画展示室、ホール及び茶室の提供</li> <li>・上記のほか、文学館の設置の目的を達成するために必要な業務</li> </ul>		
施設内容	<p>〈建物〉延べ床面積:2,896㎡ RC造地上2階建                  〈土地〉4,266㎡                  〈主要施設〉常設展示室、企画展示室、寺田寅彦記念室、ホール、茶室など                  〈開館時間〉午前9時～午後5時                  〈休館日〉12月27日～1月1日                  〈主な料金〉常設展 一般400円                  ※高校生以下、高知県長寿手帳(65歳以上)、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する者と介護又は介助者1名、高知市長寿手帳を所持する者は無料</p> <p style="text-align: right;">施設利用料 企画展示室 23,720円(1日)                  ホール 12,780円(全室/1日)                  茶室 3,660円(全室/1日)</p>		
職員体制	常勤職員:7人 契約職員:10人 合計:17人		

※職員数は令和6年4月1日現在

※利用料金は令和7年4月1日現在

## 2 収支の状況

単位:千円

		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
収入	県支出金	125,103	140,174	149,408
	事業収入	9,416	7,147	5,876
	その他	17,870	2,970	1,430
	収入計(a)	152,389	150,291	156,714
支出	事業費	152,389	142,826	156,714
	(うち人件費)	(73,000)	(78,318)	(84,605)
	その他	0	0	0
	支出計(b)	152,389	142,826	156,714
収支差額(a)-(b)		0	7,465	0

## 3 利用状況

		令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	前年度比
① 年間利用者数 合計 (単位:人)	常設展	1,571 人	常設展 1,582 人	+ 11人
	企画展	21,193 人	企画展 21,351 人	+ 158人
	計	22,764 人	計 22,933 人	+ 169人
	ホール	3,465 人	ホール 5,729 人	+ 2,264人
	茶室	1,833 人	茶室 2,249 人	+ 416人
	その他事業	9,781 人	その他事業 9,121 人	- 660人
	小計	15,079 人	小計 17,099 人	+ 2,020人
	合計	37,843 人	合計 40,032 人	+ 2,189人

② 利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常時、館内2カ所(1F休憩コーナー、2Fロビー)にアンケート用紙と回収箱を設置している。</li> <li>・令和6年度の回答数は401枚 回収率は1.7%であった。</li> <li>・回収したアンケートは全職員に回覧するとともに、性別、年代、県内外、来館回数、来館方法、来館のきっかけ、展示内容の評価等を集計している。</li> </ul>
	<p>○ 利用者意見等を踏まえた対策</p> <p>(事例1)入館後すぐ団体客が来たので、分かっている場合は事前に伝えてほしい。 → 団体観覧が入っている場合は受付でお伝えするようにした。</p> <p>(事例2)2Fロビーの椅子の座面が汚れている。 → きれいな椅子と交換した。</p> <p>(事例3)展示室が暑い。 → 空調機が故障し冷房が停止していた(11:50~14:00)。来館者に状況を説明するとともに、展示室とロビーに扇風機を設置した。</p> <p>(事例4)常設展示室の映像資料の画面右上に「再生中」の表示があり、作家名が見えず残念だった。 → 通常は表示されないはずだが、職員が気づいたら表示を消すよう周知した。</p>
③ その他特記事項	

#### 4 年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	・建物、設備の管理については、事前に修理を行い、観覧者の安全性や快適性を保つ等、適切な管理運営が遂行されたと認められる。
②利用者サービスの維持向上	・来館者アンケートの実施や指摘事項はすぐに改善できている。また、定例会等の自己点検により、利用者サービスの維持向上、改善に努めている。 ・各種研修会に積極的に参加するなど、職員の専門性の向上が展示内容の充実へ繋がっている。
③利用実績	・常設展、企画展の合計入館者数は22,933人で、第5期指定管理期間の要求水準である年間22,000人を達成できている。 ・教育普及事業参加者は9,121人。令和6年より、新たに高校生サポーター制度を設け、11校33人の生徒たちに、イベントの補助や高校生の視点で意見をもらうなど、様々な年代の方と協力して館の運営ができている。 ・総利用者数は40,032人となり、要求水準の40,000人を達成。
④収支の状況	・適切な会計処理ができている。館内で可能な限り経費削減に努めていることから、円滑な業務運営に努めている。
総合評価	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国から注目を浴びるような魅力ある企画展や関連イベントの開催、広報媒体の工夫など、日頃から地道で継続的な取組が評価できる。</li> <li>・企画展の内容が巡回展として国内各地で利用されており、学芸員の着眼点が評価されている。</li> <li>・第5期指定管理期間の要求水準である年間観覧者数22,000人の指標を上回る成果をあげられている。</li> <li>・職員が事業運営や職員活動に対する様々な意見を出し合い、サービス向上のための改善や広報の工夫、高校生ボランティアの活用などに幅広く取り組んでおり、優れた管理運営、事業の遂行がされたと認められる。</li> <li>・今後は更に、県出身の顕彰作家企画展の集客力向上に期待する。</li> </ul> <p>以上のことから、要求水準を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされたと認められる。</p>

#### 【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの